

(臨床研究に関するお知らせ)

外傷で搬送された患者さん及び保護者の方へ

和歌山県立医科大学救急集中治療学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、診療情報や検査データ等を解析する「観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。通常の診療で得られた情報等を利用させて頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身またはお子さんなどの診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

外傷患者におけるアンダートリージの要因：
病院前バイタルサインと転送決定に関する後ろ向き解析

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学 救急・集中治療医学講座 教授 井上茂亮

3. 研究の目的

外傷で救急搬送された患者さんの中で、高次医療機関へ転院が必要となった患者さんの特徴を突き止めることで、救急現場でアンダートリージを防ぐことを目的とします。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

2019 年 11 月～2023 年 10 月に和歌山県紀北地域で救急搬送された外傷の患者さん

(2) 研究期間

研究実施許可日～2026 年 11 月 30 日まで

(3) 試料・情報の利用又は提供を開始する予定日

研究実施許可日

(4) 利用させて頂く試料・情報

この研究で利用させて頂くデータは、患者さんの基本情報（年齢、性別）、病院前のバイタルサイン（意識レベル、呼吸数、血圧、心拍数、体温）に関する情報、2023 年 10 月までに診療録に記載された情報です。

(5) 方法

対象の患者さんを和歌山県立医科大学附属病院に直送群（直送群：Group 1）、二次救急医療機関から和歌山県立医科大学附属病院へ転院群（転院群：Groupe 2）に分類し、それぞれのグループで調査した項目を比較します。比較から転帰に影響を与えたと予想される項目について、多変量解析を行い、より転院に大きく影響を与える因子を探求します。

5. 外部への試料・情報の提供

ありません。

6. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

7. ご自身またはお子さんなどの情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身またはお子さんなどの診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、既にデータが解析され個人を特定できない場合など、研究の進捗状況によっては削除できないことがありますので、ご了承ください。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

8. 資金源及び利益相反等について

本研究に関連して開示すべき利益相反関係になる企業等はありません。

9. 問い合わせ先

和歌山県立医科大学 救急・集中治療医学講座

担当者：福井 智也

住所：和歌山市紀三井寺 811-1

TEL：073-441-0603 FAX：073-447-2360

E-mail：lante75@gmail.com